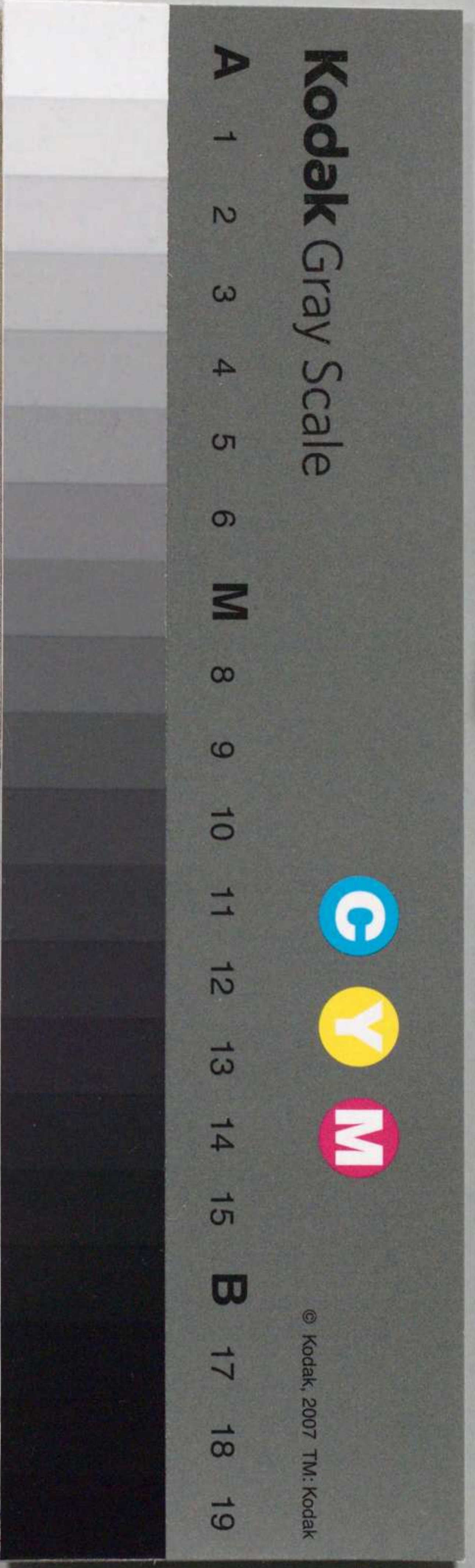


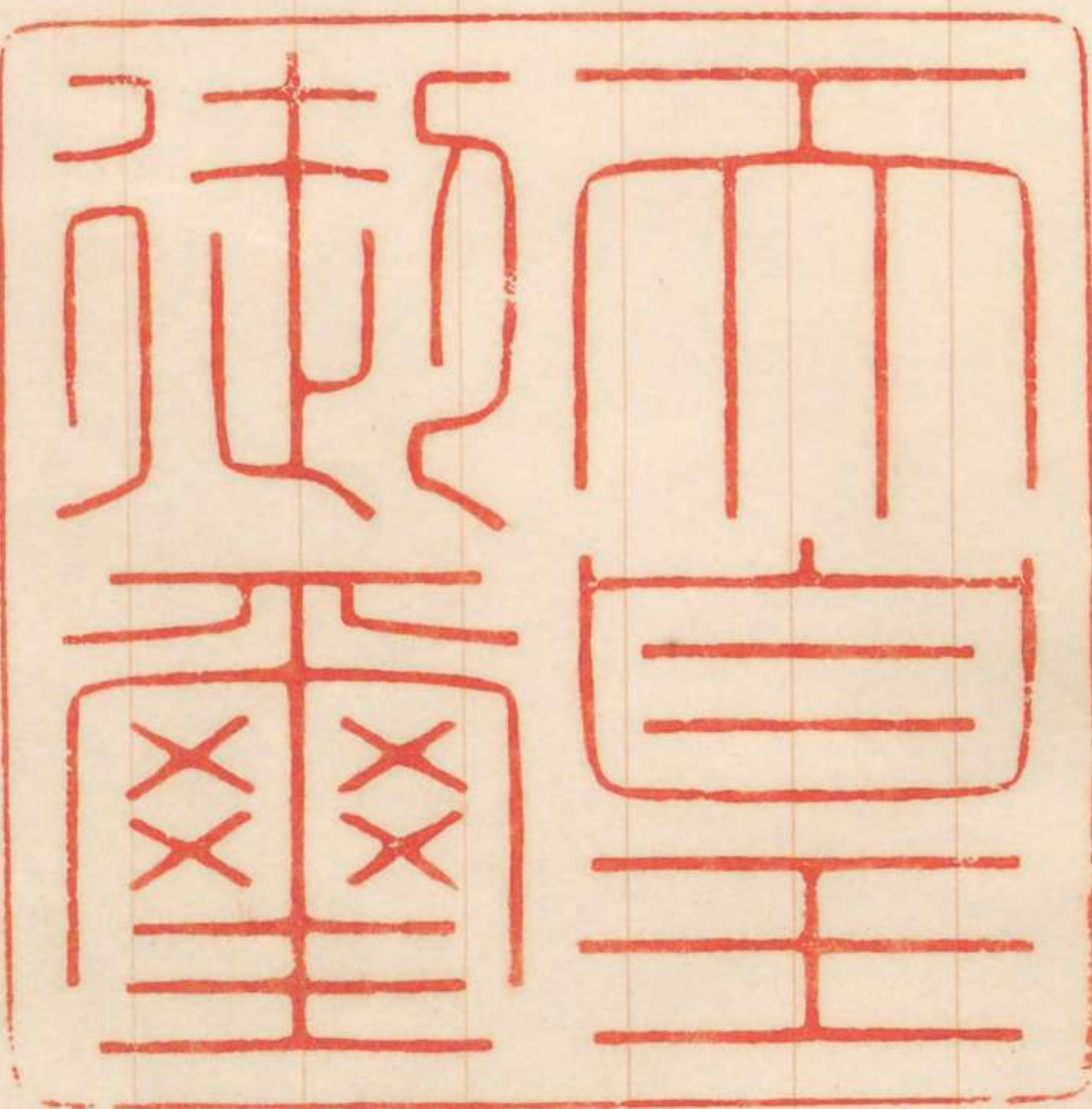
法律第十七号

信
控
大
通



朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道國有法
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治三十九年三月三十日

旬
月

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺内正毅
大藏大臣法學博士 阪谷芳郎
逋信大臣 山縣伊三郎

法律第十七號

鐵道國有法

第一條 一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ
總テ國ノ所有トス但シ一地方ノ交通
ヲ目的トスル鐵道ハ此ノ限ニ在ラス
第二條 政府ハ明治三十九年ヨリ明治
四十八年迄ノ間ニ於テ本法ノ規定ニ
依リ左ニ掲クル私設鐵道株式會社所
屬ノ鐵道ヲ買收スヘシ
一 北海道炭礦鐵道株式會社

一 北海道鐵道株式會社
一 日本鐵道株式會社
一 岩越鐵道株式會社
一 北越鐵道株式會社
一 甲武鐵道株式會社
一 總武鐵道株式會社
一 房總鐵道株式會社
一 七尾鐵道株式會社
一 關西鐵道株式會社
一 參宮鐵道株式會社

一 京都鐵道株式會社
一 西成鐵道株式會社
一 阪鶴鐵道株式會社
一 山陽鐵道株式會社
一 德島鐵道株式會社
一 九州鐵道株式會社
前項ニ掲ケタル各會社ハ他ノ私設鐵道株式會社ト合併シ又ハ他ノ私設鐵道株式會社ノ鐵道ヲ買收スルコトヲ得ス

第三條 前條ニ掲ケタル各鐵道買收ノ
期日ハ政府ニ於テ之ヲ指定ス

第四條 政府ハ兼業ニ屬スルモノヲ除
クノ外買收ノ日ニ於テ會社ノ現ニ有
スル權利義務ヲ承繼ス但シ會社ノ株
主ニ對スル權利義務拂込株金ノ支出
殘額並収益勘定積立金勘定及雜勘定
ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條 買收價額ハ左ニ掲クルモノト
ス

一 會社ノ明治三十五年後半期乃至
明治三十八年前半期ノ六營業年
度間ニ於ケル建設費ニ對スル益
金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケ
ル建設費ニ乘シタル額ヲ二十倍
シタル金額

二 貯藏物品ノ實費ヲ時價ニ依リ公
債券面金額ニ換算シタル金額但
シ借入金ヲ以テ購入シタルモノ
ヲ除ク

前項第一號ニ於テ益金ト稱スルハ營業收入ヨリ營業費賞與金及收益勘定以外ノ諸勘定ヨリ生シタル利息ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合ト稱スルハ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ每營業年度ニ於ケル建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ

第六條 借入金ハ建設費ニ使用シタル

モノニ限り時價ニ依リ公債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ之ヲ控除ス會社カ鐵道及附屬物件ノ補修ヲ爲サス又ハ鐵道建設規程ニ依リ期限内ニ改築若ハ改造ヲ爲ササル場合ニ於テハ其ノ補修改築又ハ改造ニ要スル金額ハ前項ノ例ニ依リ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

第七條 資本勘定ニ屬スル支出ハ借入金ヲ以テシタルモノヲ除クノ外順次

ニ建設費及貯藏物品ニ對シ之ヲ爲シ
タルモノト看做ス

借入金ノ支出ハ前項ノ支出ノ後ニ之
ヲ爲シタルモノト看做ス

第八條 會社カ明治三十八年前半期ノ
營業年度末ニ於テ運輸開始後六營業
年度ヲ經過シタル線路ヲ有セサル場
合又ハ第五條第一項第一號ノ金額カ
建設費ニ達セサル場合ニ於テハ政府
ハ其ノ建設費以内ニ於テ協定シタル

金額ヲ以テ第
一號ノ金
額ニ代フ

第九條 左ニ掲ケ
ニ於テハ政府

ハ審査委員ヲシテ決
定シ爲サシムヘ
シ

一 權利義務ノ承繼ニ關シ又ハ計算
ニ關シ會社ニ於テ異議アルトキ
ニ 前條ノ場合ニ於テ協定調ハサル
トキ

審査委員ノ決定ニ對シ不服アルトキ

ニ建設費及貯藏物品ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做ス

借入金ノ支出ハ前項ノ支出ノ後ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第八條 會社カ明治十八年前半期ノ營業年度末ニ於テ運輸開始後六營業年度ヲ經過シタル線路ヲ有セサル場合又ハ第五條第一號ノ金額カ建設費ニ連關シ於テハ政府ハ其ノ建設

金額ヲ以テ第五條第一項第一號ノ金額ニ代フ

第九條 左ニ掲クル場合ニ於テハ政府ハ審査委員ヲシテ決定ヲ爲サシムヘシ

- 一 權利義務ノ承繼ニ關シ又ハ計算ニ關シ會社ニ於テ異議アルトキ
 - 二 前條ノ場合ニ於テ協定調ハサルトキ
- 審査委員ノ決定ニ對シ不服アルトキ

ハ會社ハ主務大臣ニ訴願ヲ爲スコト
ヲ得

審査委員ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

第十條 買收ノ執行ハ審査委員ノ審査
中ト雖之ヲ停止セス

第十一條 會社カ買收ニ因リテ解散シ
タルトキハ主務大臣ハ解散ノ登記ヲ
登記所ニ囑託スヘシ

第十二條 買收代價ハ買收ノ日ヨリ五

箇年以内ニ於テ券面金額ニ依リ五分
利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス但シ
五十圓未滿ノ端數ハ之ヲ五十圓トス
會社殘餘財産ノ分配ハ前項公債證書
ヲ以テス

買收後公債證書ノ交付ヲ終ル迄ニ要
スル清算人ノ職務ニ關スル會社ノ費
用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ
支辨ス

第十三條 政府ハ買收ノ日ヨリ公債證

書交付ノ日ニ至ル迄買收價額ニ對シ
一箇年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金
額ヲ從前ノ決算期毎ニ會社ニ交付ス
ヘシ

前項ニ依リ交付シタル金額ハ清算中
ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主
ニ配當スルコトヲ得

第十四條 政府ハ鐵道買收ノ執行ニ必
要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行ス
第十五條 政府ハ前條ニ依リ發行シタ

ル公債及第四條ニ依リ承繼シタル債
務ノ整理ニ必要ナル額ヲ限度トシ公
債ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ利率募集ノ方法規
約据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ
之ヲ定ム

第十六條 前二條ノ公債ニ關シテハ本
法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外
整理公債條例ヲ適用ス

第十七條 第五條第一項第二號及第六

條ニ規定シタル公債時價ハ買收期日
前六箇月間ニ於ケル帝國五分利公債
ノ平均相場ニ依ル

前項平均相場ハ日本銀行ノ證明ニ依
リ政府之ヲ定ム

第十八條 買收ヲ受クヘキ會社力兼業
ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬ス
ル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ
依ル

第九條乃至第十六條ノ規定ハ本條ノ
場合ニ之ヲ準用ス

附則

第二條ニ掲クル會社ノ本法發布以後ニ
於ケル貯藏物品ノ購入、建設費ノ増減及
債務ノ負擔ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ
受クヘシ
前項ノ認可ヲ受ケサルモノニ付テハ政
府之ヲ承繼セス但シ政府ハ其ノ額ヲ查
定シ又ハ相當ノ補償ヲ徴シテ之ヲ承繼

スルコトヲ得

内

陸